



平成 22 年 3 月 31 日

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時提供先：大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ)

## 「川の駅」の設置推進に向けた要望 建議について ～「水都再生」第2ステージ、公民連携による水辺のまちづくり推進へ～

### 【お問合せ先】

大阪商工会議所地域振興部 中野・中村

☎ 06 (6944) 6323

090-9111-4379

- 大阪商工会議所 都市再生委員会（委員長：錢高一善・(株)錢高組社長）は、このほど『川の駅』の設置推進に向けた要望をとりまとめ、大阪府知事、大阪市長、近畿地方整備局長に建議するとともに、4月2日には、小河保之・大阪府副知事、北山啓三・大阪市副市長に陳情活動を行う。
- 「川の駅」は、トイレや休憩場所があり、常駐する案内人が地域の情報を提供し、人と人との出会いと交流を促進する川近くの拠点。全国各地で設置が進むなか、大阪では、大阪商工会議所の呼びかけで、2008年と2009年の2回、船着場や川沿いのレストランなどに、「川の駅」を設置する社会実験を実施したほか、「全国川の駅フォーラム in 大阪」を開催するなど、その推進につとめてきた。
- こうしたなか、2009年8月には、全国共通の「川の駅」マークをつけた、我が国初めての本格的な常設施設として、「川の駅はちけんや」（大阪府設置）が誕生。「水都大阪 2009」を経て、「水の都・大阪の再生」が第2ステージに入るなか、「川の駅」は、公民連携による水辺のまちづくりの象徴として、また来阪ビジターに対する水辺の情報拠点として、その設置推進が望まれている。
- そこで、同要望では、「川の駅」表示サインの積極的な設置や、「川の駅」の広域展開などを盛り込んでいる。

### ＜陳情活動＞

要望先	小河保之・大阪府副知事	北山啓三・大阪市副市長
日時	4月2日（金） 10:00～10:30	4月2日（金） 11:00～11:20
場所	大阪府公館	大阪市役所5階 北山副市長応接室
要望者	錢高一善・大阪商工会議所都市再生委員長（(株)錢高組社長） 田中 宰・大阪商工会議所都市再生副委員長（阪神高速道路(株)会長）	

※ご取材いただける場合は、事前にお申し込み下さい。

(大阪商工会議所 地域振興部 TEL：06-6944-6323)



### <要望内容>

- ① 「川の駅」表示サインの積極的な設置
  - ・行政が設置した船着場への、全国共通の「川の駅」マークを記したわかりやすい表示サイン（右図）の設置
  - ・民間の舟運事業者などが公園などの公共空間に「川の駅」マークを設置する場合の、公共性に鑑みた格別の配慮
- ② 「川の駅」の広域展開
  - ・琵琶湖淀川流域や大阪湾岸地域などの自治体に呼び掛け、「川の駅」の広域展開の推進



<添付資料> 「川の駅」の設置推進に向けた要望

以 上

平成 22 年 4 月

## 「川の駅」の設置推進に向けた要望

大阪商工会議所

大阪商工会議所では、全国川の駅推進実行委員会などが核となり「川の駅」の全国展開が進んでいることを受け、2008年10月、川とまちをつなぐ接点である船着場や川沿いのレストランなどに、休憩・案内・交流などの機能を持つ「川の駅」を12カ所設置する社会実験を、関西圏で初めて実施した。また、2009年にも、前年に引き続き、大阪都心部に17カ所の「川の駅」を設置する社会実験を実施した。

こうした中、2009年8月には、全国共通の「川の駅マーク」を付けた我が国初めての本格的な常設の「川の駅」が、大阪・八軒家浜に「川の駅はちけんや」として誕生した。常設施設としての「川の駅」が“川と生きる都市”を標榜する大阪において、全国で初めて設置されたことは、全国の関係者の大きな注目を集めた。昨年10月1日に大阪で開催された「全国川の駅フォーラム」には、学識経験者をはじめ、自治体、NPO、舟運事業関係者ら100名が集い、まちと水辺の情報交流拠点として「川の駅」の推進に向けて取り組むことが確認されているところである。また、大阪で社会実験に参加した事業者からも、「川の駅」は意義あるものとして、継続の意向が示されている。

「水の都・大阪の再生」が第2ステージに入るなか、「川の駅」は、公民連携による水辺のまちづくり推進の象徴として、また来阪ビジターに対する水辺の情報拠点として、様々な施設を活用しながらその設置が望まれるところである。

また、本件の推進については、行政や経済界、民間企業などによるオール大阪の推進体制が必要であり、例えば「水都大阪2009実行委員会」の後継組織が中心となって「川の駅」の推進を担うことが想定される。

については、「川の駅」設置推進に向け下記事項を要望する。

## 1. 「川の駅」表示サインの積極的な設置

「川の駅」を常設化し、その幅広い利用を促していくには、川とまち双方から容易に認識しうる表示サインの設置が必要である。そこで、行政が設置した船着場などへの「川の駅」の全国共通マークを記した表示サインの設置を積極的に進められたい。

また「川の駅」を設置する民間事業者が、船着場や公園など公共空間に同様のサインを設置するに際しても、公共の目的に資するものとして、格別の配慮をお願いしたい。

## 2. 「川の駅」の広域展開

過去2回の社会実験では、大阪都心部の水の回廊エリアに「川の駅」を設置したが、今後「川の駅」の存在を広く一般にアピールしていくには、琵琶湖淀川流域や大阪湾岸地域などにも「川の駅」が設置されることが望まれる。

堺市にはすでに「川の駅」と称する船着場が設置されている他、寝屋川市や枚方市なども設置を検討しており、琵琶湖淀川流域や大阪湾岸地域などの自治体等に呼び掛け、「川の駅」の広域展開を是非とも進められたい。

以 上